

## 【音楽会で4年生のすばらしいハーモニーが響きました 11月9日】

毎年11月に、渋川・北群馬の小中学校の児童生徒が参加して、音楽会が開催されます。

今年、長尾小学校は4年生74名が参加するため、事前の練習を繰り返してきました。音楽の時間に加えて、教室でもちょっとした時間を見つけて練習をしました。

学級での練習がある程度できると3学級がまとまっての本番に向けての練習が始まります。

音楽室や教室とは違い、体育館に場所を移すとなかなか声が通らない、歌が響かない。何度も何度も練習をしました。

11月4日の最終段階の練習では、歌に加えて、歌う前と歌と歌の間で子供たちが行う会場にむけての語りかけも含めて行いました。



### 【「こどもの世界」を歌う児童たち】

11月9日、音楽会当日は、早めに給食を食べ、バスで移動し、12時30分ころに渋川市民会館に到着しました。

13時30分から始まった渋川・北群馬児童生徒音楽会。長尾小学校は、8校目の発表になります。前半は会場で他校の発表を聞きました。休憩時間に小ホールに移動して、練習を行い、ステージ脇に移動して待機します。

発表を待つ子供たちから緊張した雰囲気が伝わります。しかし、ステージに上がり、明かりがついて発表が始まると子供たちは堂々としていました。子供たちが会場に向かって語りかけると会場から一瞬、小さな



### 【11月9日 音楽会当日のステージ】

自分たちのこれから歌う歌に対するメッセージ。納得いくまで繰り返し挑戦しました。繰り返していく中で、子供たちの顔つきがかわっていきます。歌声が変化します。

4日の練習で手応えをつかんだ4年生は、6日の児童集会で、全校の前で発表をしました。4年生の語る言葉に続いて、歌が始まると聞いている子供たちの何ともいえない雰囲気が伝わります。言葉には出さないけれど「すごい!」「上手」という雰囲気。2曲が終わると体育館には大きな拍手が響きました。



### 【歌と歌との間で会場に語りかける児童たち】

よめきがあがったように感じました。一人一人が楽しそうに歌を歌う。74人のハーモニーが会場に響き渡ります。長尾小学校の発表が終わると会場からは大きな拍手がわき上がりました。

発表を終えてロビーに出てきた子供たちはさすがに嬉しい顔をしていました。充実した発表を行った子供たちは、また一回り大きくなったと思います。

## 【持久走大会 大会記録もたくさんでした 11月14日】

11月11日に予定をしていました持久走大会は、雨のため14日の実施となりました。PTA役員の方々には、安全確保やゴール後の児童の誘導など大変お世話になりました。無事終了することができました。ありがとうございます。

子供たちは、運動会終了後から、体育集会や休み時間を使って、持久走大会の練習に取り組んできました。

練習でコースを周回すると、距離に応じてマラソンカードのマス目を塗っていきます。マラソンカードは8級からスタートして、1枚のカードにある100マスを達成すると次の級に進みます。

多くの子供たちが級を上げることを励みに休み時間等の練習をしてきました。当初1級までのカードを用意しましたが、持久走大会前に1級も終了してしまう子供も出てきたため、特1級、特2級も作るようになりました。

持久走大会当日は、群馬大学教育学部の3名の学生に先導及び伴走をお願いしました。



【南門を出る5年生男子】

と一緒にがんばって走っている子供、マイペースで黙々と走っている子供等、いろいろな走り方をしているのを感じました。

持久走は、誰にとっても当初は負担を感じる競技だと思います。また、その日の体調によって足ののびにも違いがあります。それでも、この時期、毎日走ることに取り組むことで、それぞれの子供たちに耐える力がまた少し培えたものと思います。

冬に向かう、長尾小学校の校庭からは、まもなく、次の目標に向かって、縄跳びを跳ぶ子供たちの姿、そして、声が響きます。



【3年生女子のスタート】

大会は、3・4年生、1・2年生、5・6年生のブロック別で実施しました。延期になりましたが、実施した14日は恵まれた天候の中、それぞれの子供たちが自己ベストを目指して走りきりました。

今回の持久走大会では、5名の子供たちが大会記録を更新しました。

事前の練習では、私も子供たちと一緒に走りました。毎日というわけには行かず、マラソンカードは6級を終えるのが精一杯でした。一緒に走ってみて、毎回の練習に全力で取り組む子供、持久走には苦手意識があっても友達